



於保樹

於保美里

山本亜矢

望月ひとみ

今月で望月はありが隊を卒業します。お世話になりました。来月からは3名体制。農業&林業を中心に活動していきます。



モチコの

天龍やんややんや

〈最終回〉 文 望月ひとみ

お盆が明けても残暑厳しい今日この頃。良く寝、よく食べ、お元気で過ごしましょう。さて、この新聞を書くのも今回で最後。なかなか感慨深いです。本当は手書きで新聞や通信を個人的に出したいくらい書くのは好きなので、（読んでる方には苦痛かもしれませんが）楽しませていただきました。月一回のこの分量で伝えたいことを書くのは、かなりネタや文章をしばらなければならず大変でした（歴代協力隊でもたぶん少数派）。読んでいただき有難うございました。当コーナーのタイトルの理由を最後にお伝えします。さかのぼること二年前の十月、坂部の秋祭りに伺った際、儀式中の祝詞の最後に「やんや」と言う部分があるのを聴きました。漫画などで大衆がわいわい言っているように「やんややんや」とよく書いてあります。あの「やんや」はここからきているのかと感動し、「やんややんや」とにぎわう天龍村をめざし、お役にたてるよう活動しようという思いを込めました。ただ、今となっては、前号でも書きましたように、にぎわいを求めることを第一とせず、いま住んでいる人・これから生きる子供や若者が、食に困らずこやかに過ごすことができるかを第一に考えるべきだと思います。自ずと同じ思いの人が集まるような取り組みをしていきたいです。種と肥料を村で自給でき、ていざなすのようなこの地に合った食べ物を育て食し、森と川といきものを大事に。三年間ありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。

於保樹の活動報告

林業

七月末で下草刈り・草刈りの仕事が終わわり、八月より村内での間伐を進めていきました。一カ月程、空いていたからかチェーンソーを使う際も変に緊張していたり、思うように体が動かず疲れてしまいました。山師の体を作らねば。頑張ります。

地域交流

八月はお盆の行事、高校生対応などと大勢の来客があり、お盆前後は人が集まるなと感じました。

今年も、お盆の掛け踊りは当日・前日に協力を仰ぎなんとか終わることができました。毎年ですが、掛け踊りは練習時間や合わせることでできずに、その場しのぎかなと感じてしまいます。自分自身も、本番で歌詞を忘れたり、動きを間違えたりとうまくいかず不完全燃焼が否めないです。来年こそはこまめな連絡を取り合い、練習の機会を設け上達した姿を見せたいです。東京から郁文館グローバル高校の学生十五名程が来ました。竹の破碎や薪割り、お祭りや暮らしのお話交流会を行いました。中には、真剣に話を聞き興味を持って質問してくれたりして嬉しい気持ちになりました。来てくれる方の大半が、興味を示すような交流・雰囲気を作り出すことはできないだろうか？難しいな。



掛け踊り様子



郁文館グローバル高校交流の様子



【お茶PR販売会】

長野県庁、飯田合同庁舎でのお茶の販売会に参加させていただきました。職員の方はもちろんですが、一般のお客様にもご来場いただきました。試食や試飲があると皆さん手に取りやすいのか、多くの方にご購入していただき本当にありがたいです。天龍村のこと、南信州で生産しているお茶のことが少しでも伝えられていたら嬉しいです。

【農林業公社にて】

紅茶用茶葉の収穫をしました。といっても、私は後ろの袋を持っただけで歩いただけですが、二人用の機械を先に見ていたせいか、一人用の機械は思ったよりコンパクトなんだな、という印象です。和紅茶として多くの方に味わっていただけることを願っています。本当は収穫より、草刈りとツル取りのほうが大変だったんですけどね。草はぐんぐん生えるのに、茶葉はそれほど伸びていない不思議。



話だけは聞いていた、ていざなすの本物を初めて手に取ることができました。うん。でかいですね。なす大好きなのでたくさん食べられるのは嬉しいのですが、本体の大きさに比例した棘の鋭さと大きさはどうにかならないものかと思っています。

○田んぼ

イネの穂がだいぶ垂れてきました。除草と水管理がうまくいかず、ヒエなどの雑草が入ったり、畔周りの草刈が追い付かなかったりと反省だらけですが、収穫が見えてきてとても嬉しいです。あと一か月、気を抜かずに日々の見回りをしていきたいです。

○畑

エゴマの除草をしています。雑草にまみれて大変なことになっていますが、幸いなことにエゴマは無事です。ひよろひよろの苗を植えたところも大きく枯れることなく育ってくれています。早く救出しなければ、。

○シイタケ

七月の下旬からハウスの設営を始めて、八月上旬にハウスが完成しました。そして先日ついにシイタケを収穫することができました！菌床作りからここまで、技術面を教えて頂いたり、ハウスづくりを先導してくださったりして助けてくださった方々に本当に感謝です！三月に作った菌床が千個と少しある中で、今シイタケを出せるように袋を破った菌床が一六〇個というところなんです。シイタケの栽培は始まったばかり。これからシイタケを継続的に出せるようにしていきたいので、栽培方法を教えてもらいながら、菌床の様子を観察しながら、日々頑張っていきます。

○伝統芸能

お盆の行事である、掛け踊りが八月十四日に行われました。愛知や東京などから、おきよめ祭りにも来てくれるメンバーが参加し、交流を深めることができました。私は去年に引き続き二回目の参加で、「やっこ」という役で踊りました。出来はまだまだ。また練習して来年も参加したいと思っています。



↑収穫直前のシイタケ



↑穂が垂れてきた稲